

4. 施設

4-1. ポンプ場

令和6年度末

	ポンプ 場名	始動 年月	計画 排水 面積 (ha)	ポ ン プ 施 設 内 容								原動機 能力	放流先 (河川・管渠)		
				全 体 計 画				現 行							
				区 分	口 径 (m/m)	台 数	排 水 力 (m ³ /min)	口 径 (m/m)	台 数	排 水 力 (m ³ /min/ 台)	区 分 排水能力 (m ³ /min)			総 排 水 力 (m ³ /min)	
公 共 下 水 道 施 設	庄内下水 処理場内	昭和 38.5	1151.9 (1039.7) ()は 豊中市分	汚 水	900	4	440.0	800 900 900	1 2 2	72.0 100.0 110.0	492.0	2,842	118kW 355kW 370kW	神 崎 川	
				雨 水	900	5	600.0	1,000 1,500 1,500	5 3 2	126.0 300.0 410.0	2,350.0		191kW 883kW 1350kW	神 崎 川	
				雨 水	600 700 1,000	1 1 3	46.0 65.0 510.0	600 700 1,000	1 1 3	46.0 65.0 170.0	621.0		621.0	110kW 132kW 320kW	神 崎 川
				雨 水	1,000 1,000 1,350	2 1 2	144.0 196.0 456.0	400 1,000 1,000 1,350	2 1 2 2	23.64 144.0 144.0 228.0	935.28		935.28	309kW 450kW 478kW 55kW 302kW 270kW 478kW	神 崎 川
	穂 積	昭和 42.6	180.50	雨 水	600 1,200 1,500 1,500	1 2 1 2	42.0 360.0 302.0 606.0	350 600 1,200 1,500	2 1 2 2	15.0 42.0 180.0 282.0	1,320.0	1,320.0	37kW 90kW 330kW 559kW 559kW 520kW	旧猪名川	
	新 免	昭和 45.4	8.87	汚 水	100	3	2.88	100	3	1.44	4.32	4.32	11kW 5.5kW	猪 名 川 流 域 下 水 道 原 田 下 水 処 理 場 下 水 幹 線	
	千 里 園	平成 17.4	67.96	雨 水	1,200	3	570.0	1,200	3	190	570	570	422kW	千 里 川	
	桜 井 谷	昭和 51.12	287.26	汚 水	250	3	19.62	250	3	6.54	19.62	109.62	15kW	猪 名 川 流 域 下 水 道 原 田 下 水 処 理 場 下 水 幹 線	
				雨 水	600 600	1 2	45.0 90.0	600 600	1 1	45.0 45.0	90.0		132kW 118kW	千 里 川	
	熊野田南 中継ポン プ室	昭和 57.3	13.81	汚 水	100	3	3.3	100 100	1 2	1.0 1.3	3.6	3.6	5.5kW 5.5kW 5.5kW	猪 名 川 流 域 下 水 道 原 田 下 水 処 理 場 下 水 幹 線	
	利 倉	昭和 54.6	297.03	雨 水	1,500 1,500 2,000	1 1 2	300.0 300.0 1,200.0	1,500 1,500 2,000	1 1 2	300.0 300.0 600.0	1,800.0	1,800.0	電動 / 機関 480kW/507kW 507kW 1,030kW	猪 名 川	

4－2. 庄内下水処理場

庄内下水処理場の処理区域である南部地域は低地帯のため、浸水対策を重点に実施していましたが、同地域の水
洗化と、「死の川」とさえいわれた神崎川を甦らせる汚濁対策として、昭和 44(1969)年度から、大阪府の下水道緊急整
備貸付制度を利用し、庄内下水処理場の建設を開始しました。

その結果、昭和 48(1973)年に 2 分の 1 施設を完成させ供用を開始しました。引き続き昭和 52(1977)年度から残り
の工事を行い、昭和 55(1980)年度に全体計画の大部分を完成させ、南部地域の水洗化、公共用水域の水質保全及
び浸水対策等に役立っています。

さらに、都市形態の変化に伴う降雨流出量の増大に対応するため、浸水防除の強化を行い、あわせて大阪湾の富
栄養化防止を目的として現有処理施設の1／3に窒素並びにリンの除去を目的とした高度処理方式の導入を行い、平
成 17(2005)年度より供用を開始しています。

この処理場は住宅地に隣接し、敷地面積も狭小で、かつ、都市計画公園決定地に建設のため臭気・騒音対策に留
意するとともに、水処理施設を半地下式とし、二重覆蓋構造の立体化により、土地の有効利用を図り、上部を公園とし
て使用できるようにしました。

一方では、経年使用による処理施設の老朽化が進んでいることから、機能を維持するための改築・更新工事を計画
的に進めています。

①計画排水区域

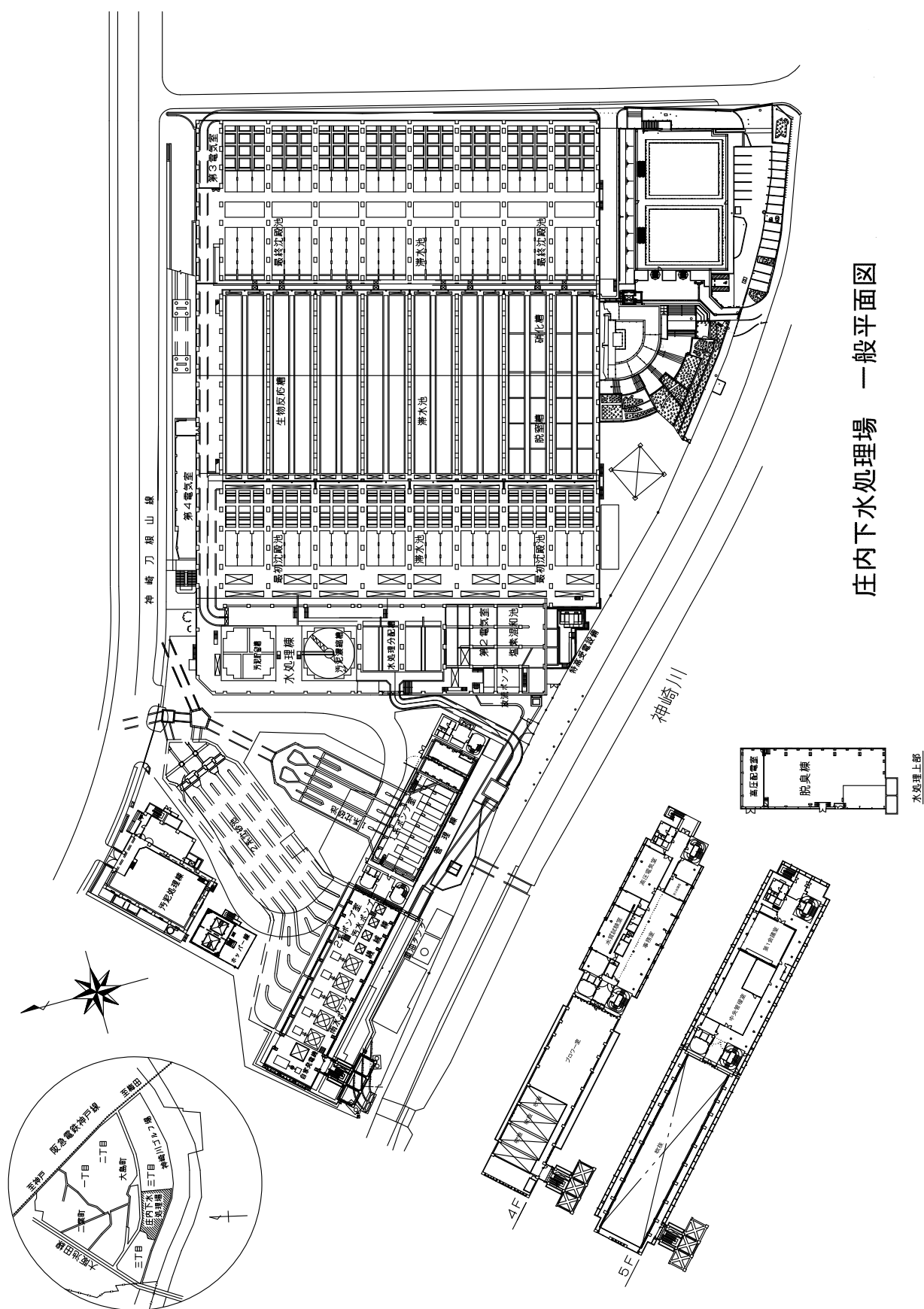
豊中市南部地区の庄内、小曾根、穂積、寺内、上津島、服部緑地および吹田市、大阪市、尼崎市の一部

②施設の概要

項目	内容
計 画 処 理 面 積	1,151.9ha(豊中市 1,039.7ha 吹田市 106.0ha 大阪市 3.6ha 尼崎市 2.6ha)
計 画 処 理 人 口	120,650 人
処 理 能 力	77,700 m ³ ／日
処 理 方 法	活性汚泥法、凝集剤併用型循環式硝化脱窒法＋急速ろ過
敷 地 面 積	35,950 m ²
放 流 河 川	一級河川 神崎川
施 行 年 度	第 1 期工事(全体計画の1／2施設) 昭和 44 年度～48 年度
	第 2 期工事(残りの1／2施設) 昭和 52 年度～55 年度
供 用 開 始 年 月 日	第 1 期工事分 昭和 48 年 4 月 1 日
	第 2 期工事分 昭和 55 年 9 月 18 日

③処理施設の概要

設備	内容	事業計画	現行
第 1 系 沈 砂 池	巾 5.0m×長さ 19.0m×深さ 2.3m	3池	3池
第 2 系 沈 砂 池	巾 5.0m×長さ 26.0m×深さ 3.94m	3池	3池
汚 水 ポ ン プ	横軸斜流 ϕ 800 72 m ³ /分	—	1台
	立軸渦巻斜流 ϕ 900 100 m ³ /分	1台	2台
	立軸渦巻斜流 ϕ 900 110 m ³ /分	3台	2台
雨 水 ポ ン プ	横軸斜流 ϕ 900 120 m ³ /分	5台	—
	横軸斜流 ϕ 1,000 126 m ³ /分	—	5台
	立軸渦巻斜流 ϕ 1,500 300 m ³ /分	1台	3台
	立軸渦巻斜流 ϕ 1,500 410 m ³ /分	4台	2台
水 処 理 分 配 槽	巾 5.4m×長さ 12.6m×深さ 2.5m	1式	1式
最 初 沈 殿 池	巾 12.6m×長さ(上階 17.7m+下階 24.1m)×深さ 3.7m	4池	4池
生 物 反 応 タ ン ク	巾 6.1m×長さ 51.0m×深さ 5.5m	4池	8池
	硝化槽:巾 6.1m×長さ 22.0m×深さ 5.5m	8池	4池
	脱窒槽:巾 6.1m×長さ 29.0m×深さ 5.5m		
最 終 沈 殿 池	巾 12.6m×長さ 43.6m×深さ 3.5m	6池	6池
処 理 場 内 滞 水 池	貯留量 約 20,000 m ³	1池	1池
急 速 ろ 過 池	ろ過速度 600m/日	8池	—
塩 素 混 和 池	(巾 5.1m×長さ 36.2m+巾 5.45m×長さ 91.6m)×深さ 4.45m	1池	1池
放 流 ポ ン プ	横軸斜流 ϕ 1,100 162 m ³ /分	2台	2台
汚 泥 濃 縮 タ ン ク	巾 14.5m×長さ 14.5m×深さ 4.0m	1槽	1槽
機 械 濃 縮	投入汚泥量 約 800 m ³ /日	2台	2台
混 合 汚 泥 貯 留 槽	巾 7.05m×長さ 7.05m×深さ 5.25m	—	2槽
送 風 機 設 備	口径 350mm×170 m ³ /分	1台	2台
	口径 450mm×260 m ³ /分	2台	2台
汚 泥 脱 水 機	圧入式スクリーンプレス 387kg-DS/hr 投入固形物量 約 10,400kgDS/日	2台	2台
水 処 理 脱 臭 設 備	活性炭方式	—	2基
汚 泥 処 理 脱 臭 設 備	生物脱臭+活性炭方式	—	1基
汚 泥 焼 却 炉	60t/日炉	1基	—
発 電 機 棟	鉄筋コンクリート造り	1棟	—
空 調 設 備	ヒートポンプ方式	—	1式
機 械 棟 (管 理 棟)	総床面積 8,488 m ²	1棟	1棟
処 理 施 設 上 屋	18,400 m ²	1式	1式



図面一般—場内地下水处理

4-3. 下水道用地明細表

施 設 名	用地面積 (㎡) (公簿面積)	所 在 地 (地 番)
<i>稼動施設用地</i>		
庄内下水処理場	35,997.55	大島町3-19-7外18筆
桜井谷ポンプ場	3,767.77	桜の町2-38-13外6筆
新免ポンプ場	318.00	本町9-248-4外1筆
千里園ポンプ場	5,316.31	蛍池南町1-3-40外5筆
利倉ポンプ場	9,589.00	利倉2-196外10筆
穂積ポンプ場	3,242.00	穂積2-211-2外6筆
小曽根第1ポンプ場	2,253.26	豊南町南5-5-7外5筆
小曽根第2ポンプ場	2,559.00	大阪市淀川区十八条3-219-2外6筆
小 計	63,042.89	
<i>未稼動施設用地</i>		
旧熊野田ポンプ場	229.26	熊野町4-144-3外1筆
小 計	229.26	
合 計	63,272.15	

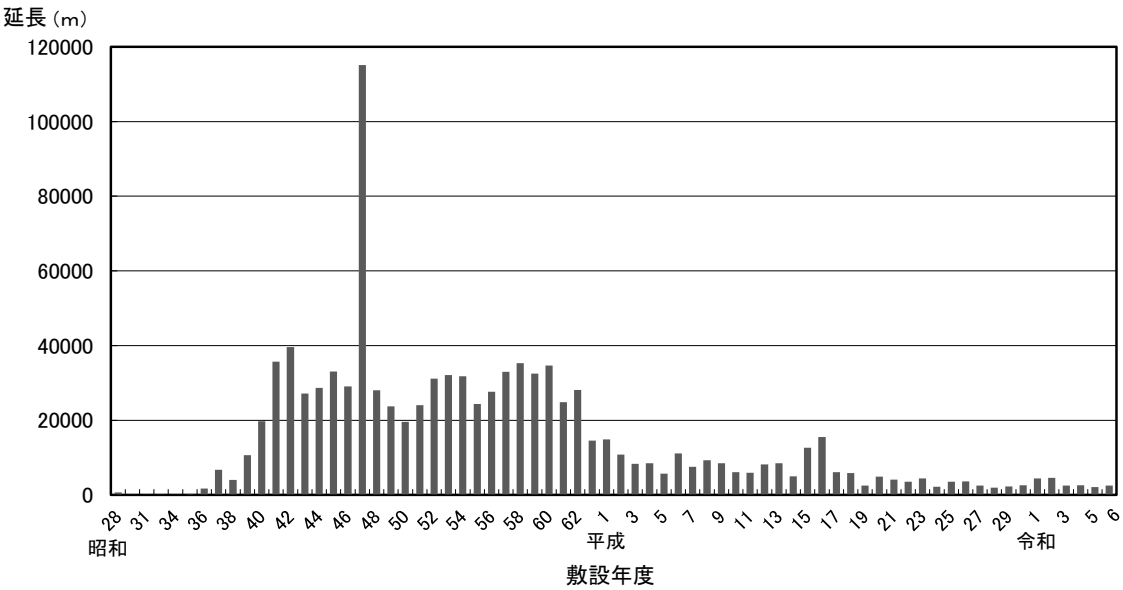
4-4. 管渠の現況

※ 18年度より下水道台帳デジタル化に伴い、見直した延長の数値に変更

(1)口径別延長

項目 排除方式	処 理 区	延長 (m)	管 径 別 延 長 内 訳						
			300mm 以下	301mm～ 400mm	401mm～ 1,000mm	1,001mm～ 1,500mm	1,501mm～ 2,000mm	2,001mm～ 3,000mm	3,001mm 以上
雨水管	原田	219,838	53,729	36,717	90,630	21,158	9,811	6,037	1,756
	庄内	23,400	4,819	2,615	7,985	1,991	40	739	5,211
	その他	2,648	551	423	1,674	0	0	0	0
	計	245,886	59,099	39,755	100,289	23,149	9,851	6,776	6,967
污水管	原田	328,509	290,653	4,858	23,164	9,070	764	0	0
	庄内	41,028	35,036	1,245	4,306	441	0	0	0
	その他	6,203	6,203	0	0	0	0	0	0
	計	375,740	331,892	6,103	27,470	9,511	764	0	0
合流管	原田	218,071	115,170	28,651	54,416	10,981	4,855	3,998	0
	庄内	227,525	93,181	38,914	65,307	11,636	6,863	10,281	1,343
	その他	5,402	1,478	1,237	1,749	892	46	0	0
	計	450,998	209,829	68,802	121,472	23,509	11,764	14,279	1,343
合計	原田	766,418	459,552	70,226	168,210	41,209	15,430	10,035	1,756
	庄内	291,953	133,036	42,774	77,598	14,068	6,903	11,020	6,554
	その他	14,253	8,232	1,660	3,423	892	46	0	0
	計	1,072,624	600,820	114,660	249,231	56,169	22,379	21,055	8,310

(2)敷設年度別延長



4-5. 親水水路

○整備状況図

